

NPO (特定非営利活動) 法人 笠岡を元気にする会

本会は、2012年5月に結成され、同年9月12日にNPO法人の認証を受けました。
活動の視点を、笠岡の元気を創る“まちおこし”とし、特に、①島、②農村、③商店街、④干拓の活性化支援を行い、同時に社会的弱者の方々の“さいごの砦”“駆け込み寺”として、会員のみなさん方と力を合わせて、生活相談を強めていきたいと思います。

元気会 〒714-0085 笠岡市四番町3-20 TEL 63-0911 HP <http://kasaoka-genkikai.com>
 (「元気会」の事務所は、笠岡グランドホテル正面です 気軽にお立ち寄りください)

No.75 2018年8月1日発行

記録的な 豪雨災害

がんばろう！北川
 がんばろう！吉浜
 がんばろう！笠岡

生活支援
 心の支援
 ボランティアで



全国からの支援ボランティアが笠岡に入って来られていますが、一日でも早い被災者の方々の復興のために、可能な支援をみんなで広めていきましょう。

日本全国がその惨状に心を痛めた7月の七夕豪雨は、西日本の各地に被害をもたらしました。もっともひどい真備町をはじめ、笠岡でも小田川の決壊などにより北川地区が、さらに吉浜地区も冠水被害に遭い、床上浸水186世帯、床下浸水201世帯と、台風以外の大被害としては例を見ない大災害となりました。

北川地区に 民間のボランティアセンター

新たなボランティアの支援受付として、北川公民館前に、民間の方々(代表：茂平の高田工業 社長 高田哲治氏)がたちあげられています。



その名も「ぞうきんプロジェクト」床上下浸水等のご苦労の方々を支援するボランティアの新規受付です。半日でも一時間でも、お力をお貸しください。

申込み 現地 北川公民館前テント
 高田代表 090-3746-7798

ボランティアの方々のための飲料水なども求められています

被災された方の ボランティア要請は

社会福祉協議会が受け付けています。既存の登録ボランティアの方々が対応されます。

62-3507 (社協)

義援金

これから各地で、夏祭りなどのイベントが多く開催されます。あらゆる機会を利用して、義援金を呼びかけましょう。



こうした時こそ、絆を強め、あらゆる支援を!

運搬用の軽トラなど

浸水被害により、多くの車両が使用不可です。運搬用の軽トラなどが、ぞうきんプロジェクトやボランティアの方々に必要とされています。すでに多くの方々のご協力をいただいておりますが、さらなるご協力をお願いします。

元気号マイクロバスも活躍

全国から来ていただいた、ボランティアの方々を、被災地へ送迎



するために、元気会のマイクロバスも大活躍しています。

裏面も見てね♪

NPO元気会の活動を定める定款には、①社会的弱者支援と共に②島地部③干拓④商店街⑤農村部の活力支援を定めています。

空き家相談 無料 別紙

8月15日(水) 市民会館第1会議室



どうする空き家？

- ・空き家活用
- ・相続など
- ・空き家問題
- 手軽に相談

よっちゃんれ会場 7月21日(土)
義援金 90,650円

大変ありがとうございました。25日に早川委員長から小林市長に渡されました。



港まつり前イベント 笠岡の夜を彩るよっちゃんれ

別紙に掲載のよっちゃんれの夜。元気会は事務局として7月は連日よっちゃんれでした。



夜空を彩る 大花火は 9月1日(土)



台風の接近にともない急ぎよ延期です。当日の延期決定にみなさん大ワラフ。(去年の写真でカンペンを！)

8月5日(日) 道の駅7周年

2011年8月4日にオープンした道の駅。かさおかべいふあーむ。岡山県下16番目の道の駅ですが、年間100万人の来場者は、県下ダントツの一番。壮大なロケーションと花畑は、7年目の今も大人気です。



ご紹介 します ⇒



空き家相談など対応されている、岡山住まいと暮らしの相談センターの一員の弁護士は、小寺立名先生。元気会と長いお付き合いのある先生で、来笠の際には、よく元気会事務所へ立ち寄られています。ご相談の際はご紹介しますよ。

ひまわり祭り 豪雨不作のため 延期です

8月5日(日) ⇒ ???
いつかが いつかな

笠岡グランドホテル ステーキ祭りは 8月12日(日)までだよ!

初の試み夜の 8月25日(土) 百縁商店街

PM. 4:00~

土曜の夕方から 商店街を楽しむ百縁商店街



8月26日(日) ハートフル 社会福祉大会 13:00~ 基調講演

落語家・医学博士

立川らく朝氏

“笑って健康笑って長生き。”



就労支援さとみのなかま

オープンして一周年記念として、みんなでみろくの里遊園地に。初めて遊園地という所に行くので、“うれしくて、前夜寝られなんだ。”というA君。楽しそうでした。



障がい者就労支援 さとみ

真備被災工場 片付け応援

甚大な豪雨被害を受けている真備町。“さとみ”の利用者の仕事をいただいているフルーツキャップ工場は全滅の状況。そこで、手分けして復旧作業に駆けつけました。利用者のみなさんの顔つきが、この惨状を目の前にして変わってきています。みんな様々な体験の中で、成長しています。



ろうあの方々と トウモロコシ狩り



7月23日(月) 耳の不自由な方々の外出支援を兼ねて、干拓の酪農業希望園さんのご協力の下

トウモロコシ狩りを実施。暑さに負けず、手話通訳者を通じて“初めてじゃ。” “こんなに大きい。”と楽しみ、生トウモロコシの甘さに驚いていました。



福山の青葉印 刷さん。

さとみの作業の為にこんなに広くて立派な部屋まで準備していただきました。ありがとうございます。



ワコーファームのシャインマスカットづくり。5月植え付けから毎日。見事なものです。

秋を先取り! 鈴虫を飼いたい方は元気会まで